

令和7年産大豆情報 No.2

令和7年8月 28 日
湖東農業農村振興事務所農産普及課
(TEL 0749-27-2228)
J A東びわこ 営農経済部
(TEL 0749-28-7851)

大豆が水不足です！ うね間かん水を実施しましょう

盆明け以降も降雨がほとんどなく、水不足で葉が裏返っているほ場が散見されます。大豆は開花期～登熟期に多くの水を必要とし、子実肥大期まで水が必要です。開花期以降の水不足は、落花や落莢、青立ちの原因になりますので、日中に大豆の葉が裏返って白く見える場合は早急にうね間かん水を出来る限り実施しましょう(詳細は令和7年産大豆情報 No.1参照)。



←水分不足で葉が裏返っているほ場

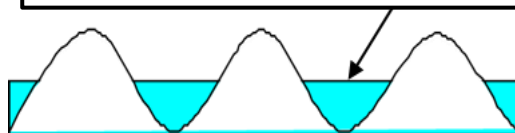
全体的に白っぽく見えます。

日中に葉の反転が 50%以上見られる場合は、早急にかん水が必要です。



うね間かん水の様子

水位:うねの高さ2分の1くらい



←中耕培土栽培の入水量目安は、
うねの高さの2分の1程度まで。

今後の管理

●難防除雑草の防除

ホオズキ類・帰化アサガオ類等の難防除雑草は、ほ場周辺に定着しほ場に侵入します。まん延すると防除が難しく、収量や作業効率が低下します。畦畔やほ場周辺で発生している場合は、種子を作る前に除草しましょう。また、ほ場内で発生している場合は、早期に抜き取り、ほ場外に持ち出し処分しましょう。



マルバルコウ(帰化アサガオ類)



ヒロハフウリンホオズキ



イヌホオズキ

●病害虫防除

今後カメムシ類、ハスモンヨトウやタバコガ類等のチョウ目害虫の防除時期になります。8月25日には、滋賀県病害虫防除所からミナミアオカメムシについての注意報が発表されました。水稻の収穫後に、大豆ほ場に移動し、被害が多くなるおそれがあります。ほ場内を見回り、害虫の発生状況をよく確認し、必要に応じて防除を行いましょう。なお、農薬を使用する際は必ずラベルを確認し、記載内容を遵守してください。



ミナミアオカメムシ成虫



ミナミアオカメムシ幼虫



ハスモンヨトウ幼虫

《写真提供;滋賀県病害虫防除所》